

# かがやけヤマブキ!



## 動き出した係活動

3学年になって1ヶ月が過ぎました。子供たちは、新しい生活に随分慣れてきたようです。学習だけでなく、朝の会や帰りの会、渕水タイムや係活動も軌道に乗ってきました。中でも係活動は、「みんなが楽しくなる活動をいろいろと計画するようにしよう」と働きかけたところ、お楽しみ係はクイズ、音楽係はイントロクイズ、体育係は休み時間の外遊びを企画するなど、どの係も張り切って「楽しい活動」をし始めました。教室の本棚を整理する、音楽や体育の学習に必要な教具を準備するなどといった常時活動に加えて、このような企画を進めることで、係活動がぐんと活気のあるものになりました。



友達を楽しませたり喜ばせたりできる」という達成感が子供たちの自信へとつながっていくのだと思います。時々、同じ日の同じ時間にくつもの係の企画がブッキングすることもあります。そこでお互いに譲り合ったり時間をずらしたりしようと話し合っていくのも大切な経験です。今後、どのような企画が出てくるのかとても楽しみです。

教室の後ろに掲示して  
ある各係のポスター



### 学習参観・学級懇談会、ありがとうございました

4月24日の学習参観・学級懇談会には、ご多用の中お越しくださいありがとうございました。学習参観の算数科では、わり算の導入の部分の学習を行いました。具体物を操作したり、図に描いたりして考えることで、「わり算は難しそうだ」と言っていた子も「九九を使って考えると解ける」と、わり算のポイントを理解することができました。学級懇談会は時間の都合上、私からの話が中心となり、お子さんの家庭での様子等についてお聞かせいただくことはできませんでしたが、これからも、お気付きの点や、ご相談されたいこと等がございましたら、連絡帳や電話等で、いつでもお知らせください。今後の指導に生かしていきたいと思っております。



# 家庭学習の習慣を

4月号でも触れましたが、家庭学習に取り組むよう、引き続き声かけをお願いします。学習したことを確実に身に付けるには毎日の積み重ねが力となります。プラス1学習で「今日習ったことを忘れないために」「早く覚えたいから」「テストで間違えないようにしたいから」など、なぜその学習をするのか理由を明確にし、自分の目当てを決め自ら学ぶ力が付いていきます。

おすすめの学習例を教科ごとに例を紹介します。

- 国語**…新出漢字を用いた短文を作って漢字練習する。(漢字練習の宿題で同じ課題を何度か出したことがあります。)
- 社会**…地図記号とその意味や成り立ちを表にしてまとめる。  
自分の家や学校の周りの様子を地図にかく。
- 算数**…百マス計算や、ランダムにならんだ九九の問題(0や10のかけ算も入れる)を自分で作ってとく。  
かけ算やわり算の文章問題を自分で作ってとく。
- 理科**…家の周りで見られる植物や動物を観察し、観察カードのようにまとめる。  
(上の中から)興味のある生き物について、図鑑などでくわしく調べる。
- 読書**…「本は心の栄養」と言います。国語教材の作者の別の作品を読んでみてはいかがでしょうか。小学校中学年では、あまんきみこや新見南吉、木村裕一(「あらしのよるに」のシリーズが有名です)等の作品がお薦めです。



プラス1ノートが一番上に「今日、新しい漢字を習ったかられん習する」「『はばたきテスト』で100点を取りたいから、かけ算をふく習する」「地図記号を早くおぼえたいから、ノートにまとめる」などを書いてから始めるようにすれば、その日の目当てと理由がより明確になり、取り組みやすくなります。



## 生活のリズムを規則正しく

長い連休が終わり、間もなく5月も中旬に入ります。日々の学校生活や6月初めに予定している宿泊学習等の各種行事を万全の体調で送れるよう、「早寝早起き朝ごはん」を守るなど、規則正しい生活のリズムを習慣づけるよう、ご家庭でもご協力と声かけをお願いします。

新型コロナウイルス感染の恐れも、予断を許さない状況です。引き続き、手洗い・換気の励行、マスクの着用、「三密をさける」等感染予防を併せてお願いします。

